

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム【様式例】

学校番号：27018

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
実態	課題
<p>成果</p> <p>◇国語の全校偏差値は50.3、算数は49.5と、全国平均に近い水準を維持しており、基礎的な学力は概ね定着している。授業では、自分の考えをもとに課題に取り組み、ICTや話し合い活動を活用して理解を深める姿が見られる。学ぶ過程を大切にしながら、自ら学ぼうとする主体的な姿勢が着実に育ってきている。</p>	<p>課題</p> <p>◇一方、国語、算数の結果から、一定の学力は身に付いているものの、考えたことを言葉や文章で分かりやすく表現する力や、自ら課題を見付け解決へつなげる力には課題が見られる。今後は、振り返りや言語化の場を充実させ、主体的な問題解決力の育成を図っていく必要がある。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p> <p>◇「誰かの役に立ちたい」という願いをもち、実践もできている子どもたちだが、それが「自分は必要だ」という自信には十分つながっていない。日々の生活で、互いの良さを認め合う「承認のやり取り」が不足していることが要因と考えられる。学年ごとの目標に向かって粘り強く取り組む姿を、教師が意図的に価値付ける必要がある。他者から認められる喜びを積み重ね、相互承認の感度を磨くことで、高め合いながら「学ぶ力」を伸ばす基盤を築くことが本校の課題である。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自ら進んで考え、行動する子どもの育成

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
<p>◇勉強が「楽しい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を自分事として捉え、学びの見通しをもっている姿 ・個別探究したいという姿 ・協働探究したいという姿 ・自分の成長や学びの進み具合を自覚している姿 	<p>◇学級活動 →ねらいを理解して取り組む</p> <p>→自分や友達の成長を感じられる振り返り</p> <p>◇児童活動 →自分の周りの課題を解決していこうとする</p> <p>教室、学年、異学年交流、委員会活動</p> <p>全校で取り組む活動への参加意識</p>	
<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</p> <p>◇ICT を利活用し、個別・協働的な探究を深め、思考の言語化や振り返りを充実させる。他者との承認や異学年交流を通じ、自らの成長を実感できる場を創出する。課題を自分事と捉え、主体的に解決に挑む姿勢と、互いに高め合う「学ぶ力」の基盤を育むようにする。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

